

植物で作った色水の研究

益城町立津森小学校 3年 石川 けい

1 研究の目的

1年生のころ、今の4年生が花びらで色水を作っているのを見た、ぼくもやってみたいなあと思った。それで、植物をつぶした色水どうしをまぜても絵の具の色をまぜたときと同じ色になるのか調べてみようと思った。

2 研究の方法

(1)いろいろな色の花びらや実、葉をあつめる。花の名前は図かんで調べ記ろくしておく。

(2)ふくろの中に花びらなどを水を入れ手でもみつぶす。かたい花はすりばちですりつぶす。

(3)できた植物の色水を小さじ1ぱいずつまぜて、どんな色にな、たかかくにんする。また、植物の色水をお手本に絵の具で色水を作り、同じように小さじ1ぱいずつませる。

3 研究の結果

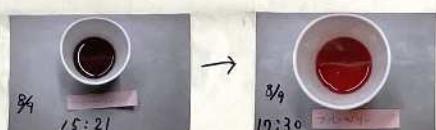
(1)できた色水

植物				
色水	赤	オレンジ	青	緑

(2)まぜてできた色



(3)時間かたつと色かわる色水



ブルーベリーの実をつぶして色水を作ったすぐはこゆいむらさき色だったけど、時間がたつとだんだんうすい赤むらさきにかわった。

4 研究のまとめ

ツユクサの青とタリアの赤をまぜると、絵の具とくらべると同じようなむらさきになった。しかしキバナコスモスのオレンジとツユクサの葉の緑をまぜてできた色は絵の具をまぜたときの色とずいぶんちからう色になった。ブルーベリーなどの植物から作った色水は、時間がたつにつれ色かわるから色を作るのは大へん大と思つた。それにくらべて絵の具は時間がたつても色かわらないからべんりだと思つた。